

図書館利用者と貫井図書館長との懇談会

- 1 日時 令和元年10月30日（水） 午後1時30分～午後3時
- 2 場所 貫井図書館 視聴覚室
- 3 参加者 利用者 21名 内ガイドヘルパー1名
図書館 4名
(貫井図書館長、館長代理2名、総括学校支援員)
- 4 テーマ 「これからの貫井図書館に期待するサービスとは」
- 5 配付資料 (1) 貫井図書館平成30年度下半期～令和元年度上半期実施事業概況
(2) 貫井図書館だより
(3) 美術パスファインダー
(4) おとなのためのおはなし会チラシ
- 5 次第 (1) 貫井図書館長挨拶
(2) 図書館職員紹介
(3) 図書館事業説明および懇談
①子供たちや子育て世代へのサービス
②一般、高齢者、障害者サービス
③その他施設に関することなど
(4) 貫井図書館長挨拶

図書館利用者と貫井図書館長との懇談会 会議録

1 貫井図書館長挨拶

本日は図書館利用者と貫井図書館長との懇談会にお越しいただきまして、ありがとうございます。日頃より図書館事業にご協力いただきまして、大変感謝をしております。

練馬区立図書館では10月27日から11月9日の読書週間に合わせて、区内12館で利用者の皆様と館長との懇談会を開催しております。今年は「これからの貫井図書館に期待するサービスとは」をテーマに懇談会を行いたいと思っております。ぜひ沢山のご意見をいただきましたらと思っております。

なお、本日は貫井図書館について懇談をしていただく場という事で、全館に関わる図書館サービスにつきましては11月9日土曜日14時から光が丘図書館にて開催されます「図書館利用者と光が丘図書館長との懇談会」にてご意見を承る予定となっております。たとえば図書館システムの問題など全館に関わる内容などは、本日はお答えできない場合がございますので、その際は光が丘図書館へ伝えますので、ご意見を承るのみとなります。もしくは光が丘図書館での懇談会で直接お話しいただいても構いません。本日はお答えできない内容につきましては後日ホームページ上での回答となりますので、ご了承ください。よろしくお願いいたします。

2 図書館職員紹介

館長、館長代理、総括学校支援員、館長代理(記録担当)

3 図書館事業説明および懇談

①子供たちや子育て世代へのサービス

◆図書館長より関連の図書館事業報告◆

まず、子供たちへの読書支援や子育て世代へのサービスについて説明いたします。

貫井図書館では、よみきかせやおはなし会、乳幼児向けおはなし会（ぬくぬくベビーおはなし会と呼んでおります）を通年で行っております。特に乳幼児向けのおはなし会が大変人気です。駅が近く、利便性が良いということで、子育て世代にも多く利用いただいているので、ぬくぬくベビーおはなし会を月1回から月2回実施に変更しました。それから、託児サービスを「NPO法人手をつなご」に協力いただいて、始めることになりました。練馬区の区内の図書館で初めて、託児サービスを定期的に実施するようになったのが貫井図書館でございます。大変好評でございまして、他の図書館でも広がりを見せております。

その他には貫井子ども家庭支援センターと連携し、子育て世代に向けた事業を行っております。今年の6月は骨盤体操という、産後間もないお母さんの体調を整える体操教室を行いました。また、10月の初めに子育てに関する映画の上映を行いました。映画の上映は3年ほど続けております。どちらも当日は保育スタッフを派遣していただき、体操教室や映画上映中に同室保育を行い、安心して参加していただけるようにしております。こちらも好評で、「安心して参加できた」、「ゆっくり参加できた」というご意見をいただいております。

その他様々な事業を行っておりますが、3年前から「図書館を使った調べる学習コンクール」というものに取り組んでおります。図書館の本を使って何かを調べて一つの作品にまとめ上げる、ということが子供たちの学習支援という点で意義があると考えて取り組んでおります。今年は貫井図書館には143作品のご応募をいただきました。日常で気になったことを調べ、探求することが、これからの子供たちの人生に役立つと考えており、出来る限り広めていきたいと思っています。

その他、出張おはなし会を近隣保育園、地域文庫、地区区民館などで行っております。

また、子供向けのお芝居や、獅子舞のイベントを行いました。また、科学実験教室も行いました。

中高生は部活動が始まると来館が少なくなるため、引き続き来ていただくということで「ボードゲームをやってみよう」とか、出版社の方に来ていただき、「ライトノベルを書いてみよう」というイベントを行いました。

このように幅広く図書館を身近に感じていただけるような企画を行っております。何かご要望やこんなこともやってほしいというご意見がありましたらいただけたらと思います。

◆懇談◆

利用者 先ほどお話のあった映画会について。先日ホームページを見たときに「いただ

きます」という映画の上映がのっていたが、これとは別の上映会を行ったということですか。

図書館 そちらのことです。本年度は食育をテーマとしたドキュメンタリー映画「いただきます みそをつくるこどもたち」の上映を行いました。

利用者 20 人くらい集まったということだが、図書館としてはよく人数が集まった方なのか。それとももっと参加してほしかったのか。

図書館 午前と午後2部制で、午前中は小さいお子様連れでも良い回とし、保育スタッフにも来ていただきました。小さいお子さんがいるとぐずってしまい映画を見に来づらい場合があるので、それを承知の上で来ていただくようにしました。午前の部はすぐに定員が埋まり、何件かお断りすることもありました。午後は集中して映画を観たいという方のために、静かに観られる子供の参加は可能としました。午後の方は参加が少なめでした。

時期的に台風や、お子さんが急に体調が悪くなってしまうことがあり、当日キャンセルもありましたが、午前の部をメインに考えていたため、午前の部はたくさんご来場いただいたのでイベントとしてはよかったと考えています。

利用者 今後、映画の上映会では、今回のような作品を考えているのか。一般的な娯楽の作品は上映しないのか。

図書館 レンタルショップで借りられるようなものはあえて上映しなくても良いと考えています。昨年と一昨年に上映したのは「うまれる」という映画と、その続編の「ずっといっしょ」という作品でしたが、出産シーンや看取りの問題、障害のある子供を育てる家庭、再婚し血のつながらない子供と家族になるなどの様々な家庭を追った作品で、家族とは何か、命とは何かを考えるきっかけを持てる作品でした。今後もドキュメンタリーなどの作品を上映していきたいと考えています。

利用者 ありがとうございます。大変図書館らしい企画だと思う。次回上映があったら参加したい。

図書館 ぜひよろしくお願いします。

利用者 残念ながら、世の中で子供が学校に行きづらい、行けないという問題があり、神奈川かどこかの図書館で「よかったら図書館においで」と発信した話があったが、貫井図書館ではそういったことをどのように考えているのか、何か実行している取り組みがありましたら教えて頂きたい。

図書館 実際には難しい問題です。今年度も夏休みに閉館間際までインターネットを利用している女兒がいました。いつも遅くまでいるので心配ではあったが、どこまで踏み込んで良いのか測りかねる部分があり、結局何もできませんでした。今後の課題であります。

なお、図書館の基本的なスタンスとして定められている部分があります。図書館の中では図書館の資料を使って調べものをしていただくようにしています。資料を使わずに作業をされている方に関しては、図書館の決まり上、声かけを行う場合があります。練馬区の現状の規定では常時居場所を提供するというのは難しい部分があります。だからといって帰宅を促すことはなく、ある程度は許容し、

見守るというスタンスをとっています。それ以上踏み込み、何か声かけをするのは今の段階では難しい。世間の情勢として問題があることは承知しておりますが、なかなか対応が難しいと言うのが現状です。

利用者 ありがとうございます。

利用者 自習スペースについて、若干論点がずれてしまうが、台風の次の日に大泉図書館に行きましたら、割と広い席が沢山並んでいる部屋に学生がたくさんいて、自習をしているように見えたが、あれも自習なのでしょうか。資料を使ったお席の確保なのでしょうか。

図書館 大泉図書館の状況については答えられませんが、貫井図書館は視聴覚室の利用がない場合に、夜間や土日など学習席として開放しています。貫井図書館の設備上、貸出をしたものしか視聴覚室に持ち込めないため、学習席としての開放をしています。利用も大変多く、試験前に学生の利用が多いです。あくまでも図書館の閲覧席、書架の間にある席では図書館の資料を使っていたきたいと考えています。

利用者 2か月ほど前の朝日新聞の投書欄に、図書館への苦情が載っていた。資料返却の際に本の汚れを指摘され、損害賠償を請求されて怒っているという内容だった。私も利用している際に職員の確認を受けるが、この辺りについての考え方について伺いたい。

図書館 返却の際にはカウンターで、汚れ、書き込みなどが無いかは点検させて頂いています。読むよりは早いスピードで確認するため、なるべく無いうように努力しているが、見落としもあるかもしれません。

残念ながら、食べ物をこぼしてしまった、雨の日に濡らしてしまったなどの状態で返却されることがございます。その状態で次の方に貸し出した際に、読めない、読んでいてご気分が悪くなるような状態の場合は、お声かけをして確認をさせていただき、ご本人が汚されたということをお認めになりましたら、同じ本を購入していただくことをお願いしています。固い言葉で説明すれば損害賠償ということですが、このような手続きを練馬区では取っております。同じ本が絶版で購入できない場合は図書館から代わりの資料を指定させていただくことになっております。

こちらについて、どこまで厳しく判断するかは自治体によってスタンスの違いはあろうかと思いますが、やはり、区民の財産を扱っているという点に関してはきちんと気を付けて頂きたいとお願いしているところです。

利用者 その対処の仕方については、最初に利用カードを作る際に、裏面に書いてあるとか、書面化していたりしますよね。

図書館 利用案内に書いてあり、登録時に説明もしています。

利用者 わかりました。それであれば大丈夫です。

利用者 紙の本に関してはそのようにできるが、布の絵本についてはなかなか難しい。私は布の絵本をボランティアで作っているが、汚れなどで修理することが多い。以前は図書館でドライクリーニングをしていただいたが、あまり効果が無く、現

在は一ページ全て作り直すこともある。図書館の人達には大切にしたい旨を表示していただいているが、なかなか汚れは無くならない。たくさん借りて頂いて嬉しく思っているが、人気のある本が特に被害が多い。紙媒体については買えるが、布媒体の本は全く同じものを作るのは難しい。ブックスタートのボランティアもしているので、いらしたお母さんには大切に使ってほしいと案内しているが、ここに参加している大人の方もお子さんやお孫さんのために借りることがおありになると思うので、ぜひ考えてほしい。

図書館 図書館としては、お声かけの際に気を遣っているところです。なかなか難しいところではありますが、図書館マナーの向上を広報して取り組んでまいりたい。このあたりで、子供たちや子育て世代へのサービスの話は一区切りとさせていただいて良いでしょうか。

②一般、高齢者、障害者サービス

◆図書館長より関連の図書館事業報告◆

一般の方や高齢者、障害者サービスについてお話しします。

現在行っている事業の紹介をいたします。情報発信として、図書館だよりや、美術パスファインダーの発行を行っております。地域情報の発信としましては、館内の地域コーナーにてサンツ中村橋商店街のお店紹介のコーナーを数年かけて取り組み、今月末から富士見台商栄会の紹介へと移り、地域の紹介をしております。資料の活用としましては、和装資料のデジタル化や、美術館の学芸員と共催でワークショップを開催し、美術関連資料の有効利用促進に努めています。地域の施設との連携として、中村敬老館、中村橋地域包括支援センターへ出張講座も行っております。中村橋地域包括支援センターの方には図書館で講座を開催していただくこともあり、高齢者や認知症についての情報拠点としてお世話になっています。その他には、大活字本の所蔵を増やし、高齢者への読書支援をすすめていきたいと考えています。その他、障害者サービスとしては、年間 976 回の対面朗読を行っております。ボランティアの方のご協力の賜物と思っております。区内一の実施回数です。今後なるべくご不便の無いように実施していきたいです。

◆懇談◆

利用者 高齢者へのサービスについて、具体的にどのようなことをしているのか。介護施設などへおはなし会に行くことはあるのか。

図書館 老人ホームへのお出張おはなし会は年に3回行っています。老人ホームの中のレクリエーションとして取り組んでいます。

また、中村敬老館での音読講座、ケアカフェでの音読講座や歴史講座を行いました。歴史講座は、図書館の資料に興味関心をもっていただける講座になりました。12月にも中村橋包括支援センターと連携で講座を行う予定です。

一方で来館者の高齢化も進んでおり、図書館側としてもスタッフに認知症に対する知識を持ってもらえるような研修を行っています。

利用者 地域の中で高齢者の活動の運営を6～7年行っているが、ずっと貫井図書館の

方に来ていただいています。1年に一回の音読講座をやっていただき、すごく助かっています。地域の方に何かしていただいて、活動が継続できているということはありがたいことだと思う。地域包括の方にも助けて頂いているが、図書館にもすごく助けて頂いている。

図書館 湯ちゃぶの会の方には街かどケアカフェで活動される以前から、お付き合いをさせていただいています。

以前、認知症が疑われる来館者がいらっしゃいました。地域包括支援センターの方に連絡し、図書館に来ていただき、該当の方と直接話をしていただき、生活の支援に結び付けることができたというケースが数件ありました。見守りながら、出来る事があればと思っています。近隣に地域包括支援センターがあるのは心強い。一人暮らしで困っていらっしゃる方がいたら手助けができればと考えています。

利用者 今話をきいて思い出したのですが、以前、カウンターで職員の方が手続き中と思われる赤ちゃんを抱えたお母さんに、さりげなく椅子を出していたのを見たことがある。そのままの姿勢が、今後図書館に期待するサービスなのかなと思いました。

図書館 ありがとうございます。今後も全てのスタッフが同じように対応できるよう取り組んでまいりたいと思います。

③その他施設に関する事など

◆懇談◆

図書館 これまでのこと以外に何かありましたら、主に施設に関することになるかと思いますが、ご発言ください。

利用者 去年もお話があったと思いますが、美術館と大規模改修の予定があるとのことでしたが、具体的にいつになりますか。

美術館 美術館です。区の計画ですと、令和2年度から3年度に基本設計と実施設計を行い、令和4年度に工事に入るという計画となっています。計画通り進むかは現段階ではまだわからない。多少ずれ込むこともあるかもしれない。

利用者 工事期間は2年くらいですか。

美術館 基本構想の段階のため、どのようにリニューアルするか、増築をするかの内容によって工事期間が決まる。まだ現段階では何とも言えません。

利用者 いずれにせよ、その期間は使えないのか。

美術館 休館になります。図書館も美術館も通年開館施設なので、現段階で何か工事となりますと、休館日や、図書整理期間、もしくは美術館の展示替えの期間にできるものでないと手が付けられない。大がかりな工事はリニューアルの際にまとめて行うことになるので、いまは修繕を中心にリニューアルまで持たせようと取り組んでいる状況です。

利用者 基本構想がまだ決まっていないと言う事ですが、大規模改修に際して、区民、住民の意見を集めることはありますか。図書館建設の時は住民参加の建設懇談会

があるが、大規模改修に関してはそのようなことがなく、区で決めることになっているが、このような会で意見を集めていくことがありますでしょうか。

美術館 その辺りに関してもまだ定まっていません。今年中に基本構想はまとめたい。検討会議には、光が丘図書館の館長が入っているの、ある程度は反映されていると思いますが、基本構想をまとめた後に皆さんの声をどのように反映させていくか、ということがまだ具体的に定まっていない段階です。

図書館 光が丘図書館にも、改修工事に関して意見を述べる場がほしいと希望があったことを伝えます。

利用者 今の話ですが、地域の代表として、美術館の基本構想会議の場に参加しているが、美術館が主体になっているので、図書館がどうなるのかがあまり話が出ていない。美術館の展示スペースを広げると、図書館や視聴覚室がどうなるのかという話が出ていない。美術館の入り口やトイレが狭いので、障害のある方がどのように利用できるのかなどを検討している。エレベーターも離れていて使いづらい。これから、図書館の部分も考えながら意見を言っていきたい。

利用者 私たちにとっては、貫井図書館は12館中の大事な一館で、駅も近く、とても便利な場所にあるので、いろいろな学習会やイベントで利用したい場所。構造上、美術館が大家だということは説明があったが、美術館中心ではなく考えて欲しい。建設懇談会の際はちゃんと図書館の意見も言えるようにしていたと思うので、後でこれだけしか使えないという事があると困る。

図書館 光が丘図書館も会議には加わっているの、図書館のことも考えていると思いますが、ご意見があったことは伝えます。

利用者 練馬には図書館協議会という組織はないのか。今、話があったようなことを含めて、光が丘図書館や他の館にも図書館クラブや友の会などはないのか。昔は役所のサービスを受けるだけであったが、いまは先進国では協議会のような形で、新しい図書館の在り方は進んでいる。『挑戦する公共図書館』という本を読むと練馬区や都の図書館を含め、日本の図書館は遅れていると感じる。練馬から図書館の自主性や区民を含めた協議会へと持っていけないか。美術館と図書館の問題だが、一緒になっているのは良いことだと思うが、狭いので、練馬区立美術館と貫井図書館と独立した施設にすることはできないのか。図書館の隣の子供が遊んでいる広場を埋めるとか、協議会を作らないと声が盛り上がらないのではないか。練馬区がだめなら、貫井だけでも協議会を作って、意見を区長に進言することはできないか。たとえば隣の練馬第三小学校の児童数が減っているので、ここに児童図書館を作ったらいいのではないか。部屋も空いているはずだし、今後廃校にすることが無いように、先に地域から児童図書館の設定、公共図書館としての貫井図書館の自立ができないか言い合う場を設けることができないか考えてほしい。

図書館 貫井図書館独自でという事になると難しいですが、区全体のこととして、今のお話を光が丘図書館に伝えます。ありがとうございます。

いままでの所以外になにかご意見はありますか。

利用者 児童館で文庫活動をしています。今度文庫連絡会が50周年を迎え、貫井図書館

の視聴覚室で11月16日と17日にねりまの文庫50年展を行います。こちらは練馬区の図書館からも協力をいただいている。また、教育委員会の委託講座を使用し、練馬区子育て学習講座を企画運営しています。その際にも貫井図書館の視聴覚室を使わせて頂くことがあるが、この会場が分かりづらく、裏から入って来られた方には分かりやすいが、正面から入ってきた方にわかりづらく、カウンターに問い合わせても「(イベントをやっているのか) わからない」と言われてしまうことが多い。図書館の企画であれば案内してもらえるのだと思うが、お部屋を借りてイベントを実施した場合の案内を、聞かれた時だけで構わないのでカウンターの方にやっていただきたいと思っている。

図書館 以前、ご案内に不備があったことを踏まえて、ここ数年は視聴覚室で講演や催し物を開催される場合には、事前に開催日時をお知らせいただくか、チラシなどを確認しています。また、いつもご予約いただいている団体で、この日はイベントを開催するということを把握していれば朝礼で周知し、案内をするようにしています。

ご予約されただけだと、内部の会議なのか、外部に対する催しものなのかがこちらとしてもわからない。また、入ってすぐの風除室にも当日の視聴覚室利用団体を掲示しているので、確認は可能です。また、必要であれば掲示物を用意していただければ掲示も可能です。

利用者 事前に言った方が良いか。

図書館 当日でも構わないが、なるべく事前にいただけるとありがたい。

利用者 それは入り口に立て看板を置くことになりますか。

図書館 図書館のイベントも掲示を出しますので、いただければ掲示します。

利用者 それに関して、11月23日に視聴覚室で催しを行う予定だが、チラシを置いていただいたり、ポスターを貼ってもらったり、協力いただき恐縮ですが、当日も協力いただければ幸いです。

図書館 当日入り口に表示が必要でしたら、対応いたします。

利用者 先日荒川区立中央図書館を見学してきた。新しくできたばかりで、それ以前の状態は知らないが、建物全体が明るかった。練馬区の図書館も立地が良いので、もし、新しく図書館が出来る事があったら、ああいった図書館になったらいいなと感じた。

図書館 ゆいの森図書館でしょうか。1階にカフェがあり、子供のコーナーに随時託児を受付ける場所もあって充実していると感じました。

利用者 同じ荒川区の話ですが、視聴覚室ではなくオープンスペースになっていて、映画の上映をするところが階段になっていて見やすかった。貫井図書館で一度映画を観たが、スクリーンと座席の高さが同じで見づらかった。真ん中と下の方が特に観にくいと思いました。

図書館 図書館としても気になっている所で、上映会の際に台を設置して後方の座席を設置することも考えたが、終了後に台を収納するスペースがない。現段階で倉庫のスペースも限界があるため、改修工事の際に拡張できたらと考えています。階

段状のスクリーンがある場所もあったら良いと思うので、いただいたご意見を踏まえ、発言できる場では皆様の意見を伝えていきたい。

利用者 全面建て替えであれば階層を増やすことができるが…（改修工事のため難しい）。立派な建物が欲しいでしょうが、改修工事なので、出来るだけ図書館のスペースを減らさずに、増やしていただけるような設計をお願いしていきたい。

図書館 ありがとうございます。

利用者 美術館の方ですが、展示面積を広げる予想で設計を考えているようですが、図書館のことは？

美術館 図書館もそうですが、スペースの問題がある。いまの美術館は美術館としても小規模の部類にあたり、展示スペース、収蔵スペースが少ない状態。収蔵品が多々あるが、現在は別に倉庫を借りている状態である。視聴覚室についても図書館の視聴覚室を借りて講演会を行っている状態なので、できれば美術館用の視聴覚室が欲しいため、増築を期待している。

利用者 以前、区長と話した際に（美術館の）料金設定について 500 円までの条例を撤廃して、良い企画を皆様に見て頂いた方がいいのではと提案したところ、区長から料金設定を無料にしても良い、区民の方に無料でも見て欲しいと言われた。たぶん大きな企画を期待されていると思うが…。

美術館 図書館の懇談会なのに美術館の話になり申し訳ないが、条例では 1000 円になっており、練馬区の特徴として、75 歳以上は無料として、高齢者を優遇している状態。リニューアルの際は大規模な企画展を行いたいとは考えている。

図書館 他に何かありますでしょうか。本日は、（配布資料のほかに）文庫連絡会のチラシを置かせていただきましたが…。

利用者 貫井子ども家庭支援センターです。本日は館のお知らせのチラシを持ってまいりましたので、宜しければお目通しください。いつもありがとうございます。

利用者 何度もすみません。文庫連絡会です。練馬の文庫 50 年展を来月開催します。50 年の歩みをパネル展示します。現在活動している文庫の展示もごございます。50 周年のクイズラリーでは粗品がございますので、宜しければご参加ください。また、チラシには 10 時～16 時までとなっているが、17 時までの開催となりましたのでぜひご参加ください。よろしくお願いいたします。

利用者 ちょっとよろしいですか。文庫とは一体何でしょうか。移動図書館ですか。教えてください。

利用者 文庫と言うのは子供に本を手渡す、ちいさな図書館のような活動をしており、家庭や自宅で行われる家庭文庫、児童館や地域集会所で行われる地域文庫などたくさん文庫があります。高齢化にともない、家庭文庫は減ってきていますが、一時期は区内に 52 文庫がありました。私達は当たり前に「文庫」と言っていますが、ご存じない方もたくさんいらっしゃいますので、今回のイベントで知っていただければと思います。

利用者 図書館の裏手にあります、福祉ケアセンターの中に地域包括支援センターとして仕事をしています。今回の議題のテーマとしては 2 番目の高齢者サービスの部

分で連携しています。相互に連携して、こちらが講座を行ったり、職員の方にきていただいて講座をしていただいたりしています。歴史ものの講座をやって頂くと高齢男性の来場が増えることを実感しています。高齢者の問題として、男性が引きこもってしまうということがあるが、図書館には雑誌や新聞もある。こちらの悩みと図書館の悩みを上手に連携していければと考えている。

数年前に共催で親の家の片付けの講座を行ったが、今年も12月に連携の講座の予定があります。高齢者ケアのことで、訪問介護やヘルパー訪問など、実の子供たちよりも第三者が訪問しているという事例が多いため、訪問ドクターにも協力をしていただいて、ドクターの方からみた高齢者の状況についてのお話しに交え、実家の片付けについて情報提供ができればと考えて、12月に向けて準備をしている。

通常の業務に関して、高齢者に対して何か気になることがあればご連絡くださいとお話ししていますので、必ずしも全て解決できるとお約束できるわけではないのですが、近くなので現場に駆けつけて、その場でうまくいく事もあるが、時間がかかる事もあるが、対応ができます。いろいろなところでお世話になりつつ、連携を取っています。

いま改修の話をきいていて、美術館も図書館もどちらも大切なので、どちらも大きくできないかと思いました。練馬区は区民を大事にしている区だと感じていますので、限られた中でも良い改修工事になればと思います。今後ともよろしく願いいたします。

図書館 何か他にご意見はありますか、こういったイベントはいかがでしょうかといった個別の具体的な話でも結構です。時間も残り少なくなりましたので、アンケート等書いていただきながら、何かありましたら、ご発言ください。

利用者 視聴覚室を使って、音楽会はできないでしょうか。防音設備もおそらくあると思いますのでできるのではないと思うが、ここにはキーボードが無い。以前もお願いしたのですが、電子ピアノのようなものを導入していただけると音楽のイベントもできると思うのですが。

図書館 昨年もお話をいただきましたが、他の団体からは特に要望がなく、一つの団体のためだけに購入する事が難しい。予算面の問題もあるので、今後の検討課題とさせていただきたい。視聴覚室と言いながら、あまり防音設備が整っているわけではありませんが、過去の事例もありますので、音楽に関するイベントを行うことは可能であると思います。

利用者 文庫の委託講座で童謡講座や外国の歌を歌う会を行っているが、ここにキーボードが無いので、春日町図書館を借りて実施している。本当は貫井図書館でやりたい。

利用者 湯ちゃんぶの会でキーボードを持っているので、もし事前にわかってご連絡いただければ貸出しますよ。いつも使っている訳ではないので。ケアカフェつつじでも持っているのでは。

利用者 キーボードはケアカフェつつじにもありますが、今まで貸出をしたことがない

ので…。

図書館 具体的なお話しになってまいりましたが、実際にイベントに利用したいとなりましたら、調整役として図書館が間に入りますので、またご相談ください。

図書館 今回初めて参加されている方から何かありますか。

利用者 今回初めて参加しましたので、いろいろな団体の方がいるように思うが、どのような会からいらっしゃったのかわからず、発言が出来ない。私は貫井町会からきたが、皆さんの自己紹介をききたい。

図書館 失礼しました。マイクを回しますので、差支えない範囲でご説明をお願いします。

利用者 高齢者のイベントを月一回運営しております。つつじカフェとの共催で高齢者の方に集まっていただいて、体操をしたり、図書館の方に音読講座をしていただいたり、最後に皆で歌を歌ったりする、湯ちゃぶの会を運営しています。本日は会から2名参加しています。お湯の「湯」にひらがなの「ちゃぶ」です。

会のスタートは、貫井浴場をお借りしていたが借りられなくなり、困っていたところ、カフェができたおかげで、現在はつつじカフェで活動しています。

なお、「いい湯だなちいさなちゃぶ台の会」だったが、名前が長いので「湯ちゃぶの会」になりました。

利用者 中村児童館です。中村児童館の中にも、先ほど紹介のあった文庫のおいで2文庫があります。児童館としてはまだ図書館とはあまりやり取りが無いが、今後中高生の事業にも力を入れていきたいと考えているので、協力していきたい。

利用者 貫井子ども家庭支援センターです。家庭支援センターとしては相談業務や、親子で参加できる無料のひろばを開催していて、一時預かりや、子育てに関する行事を行っています。貫井図書館では、骨盤体操や映画上映などのイベントの共催をさせていただいている。子育てに関するイベントを開催する際や、図書館でどのような内容の映画を上映しようか考えた時に、職員の方の見識が高く、区内のお母さんを取り巻く状況やお子さんの様子などを的確に感知してらっしゃって素晴らしいなと感じている。

利用者 光が丘児童館の図書室での文庫をしています。練馬地域文庫読書サークル連絡会で事務局をさせていただいています。

利用者 練馬文庫連絡会で、さきほどチラシをお配りした50周年展の企画の実行委員長をしております。貫井図書館にはいつもお世話になっていて、今日いまこの時間にも児童担当の方が、富士見台にある家庭文庫のロールパン文庫で出張おはなし会を実施してくださっています。図書館にはいろいろご協力いただいています。これからもよろしくお願いいたします。

利用者 わくわく絵本というよみきかせボランティアをしている団体です。乳幼児から、高齢者まで練馬区で15か所の施設で読み聞かせをしています。

利用者 私もわくわく絵本に所属し、児童館などでよみきかせをしている。昨年からの活動を始めたため、図書館に来るようになって、すぐ調べてくださるし、図書館の方はすごいなといつも感じている。図書館サービスについても今日わかったよう

な部分がある。いつもありがとうございます。

利用者 全盲のため、対面朗読室を利用している。二つの対面朗読室を作ってくれたのは区内で貫井図書館だけ。週に4日、5日程度利用している。朗読は、昔は研修を受けた職員が読んでくれたが、今は研修をうけたボランティアが読んでくれる。しかし、最近は予約をしても読んでくれる人の都合がつかずにキャンセルすることもある。昔は職員がやっていたのだから、読んでくれと言っても業務に穴が空くのかやってくれない。視覚障害者であっても文字の情報と書籍に平等にアクセスできるようになってほしい。光が丘図書館にも希望を伝えている。もともと世界のライブラリアンサービスには対面朗読の研修があり、本来はやって当たり前だが、いつのまにかなくなってしまった。20年前の図書館はどこでも職員が読んでくれたので、戻したいと願っている。また、NPO法人きららの代表をしており、練馬の教育を良くするための勉強会をしているが、なかなか人が集まらない。学校教育だけでなく家庭教育も、社会教育も含め、取り組んでほしい。

日本は図書館の歴史が弱い。地域の教養をあげるため、生涯学習の場としての図書館の在り方を考えて欲しい。先ほど言った協議会についても図書館が主体になって取り組んでいくべきで、官も民も一緒になってより良い図書館を作っていくことから盛り上がっていくのがこれからの図書館に期待されるものである。

図書館 申し訳ありませんが、時間も過ぎてしまっていますので、次の方にご発言をお願いします。

利用者 布の絵本フェルトブックで活動しています。フェルトブックは歴史が長く、貫井図書館が開館した次の年から、33年活動している。いまは11人で活動している。今月も布の絵本講習会を実施し、講師をしました。視聴覚室の物入れに材料の在庫をしまわせてもらっているが、リニューアルの際にそれがどうなるのか気になっています。これからもよろしくお願いいたします。

利用者 貫井ブックスタートの会です。4か月検診にいらした赤ちゃんに絵本をお渡しし、わらべうたやてあそびの案内、練馬区の子育て支援に関する情報もお伝えしています。NPOブックスタートの会に基づいて行っていますが、練馬区12館全てにブックスタートの会がございします。この視聴覚室の隣に対面朗読室がございまして、たまにブックスタートの活動が重なることがあり、私たちの声が響いてしまうことがあるので、ご迷惑をおかけしております。その際にはお声掛け頂きたい。図書館の方には些細な事でもすぐに対応していただき、助かっています。いつもありがとうございます。

利用者 音訳ボランティアわの会です。主に図書館の資料を音訳して、デイジーにして納めている。メンバーのうち何人かは対面朗読ボランティアとしても活動している。貫井図書館は月に1回利用させていただいていて、助かっている。今日参加して、いろんな団体があることがわかり大変参考になりました。

利用者 地元で本屋を営んでおります。中村橋書店です。

利用者 対面朗読ボランティアと音訳資料を制作しております音訳はあとです。

利用者 区の委託事業で高齢者の身近な相談窓口となっております、中村橋地域包括支

援センターです。つつじカフェという常設のカフェを持っており、平日と土曜日の10時～16時まで、どなたでも座ってお茶を飲んでいただけるような場を提供している。特に高齢者の方には夏の暑い時期に避暑に来ていただくような形で活用していただいている。

利用者 駅前のサンツ中村橋商店街です。図書館には2～3年ほど商店街の紹介をしていただいていた。美術館と図書館は地域の宝だと思っていますので、今後も連携して地域を盛り上げていきたい。よろしくお願いいたします。

利用者 向山西町会長をしております。よろしくお願いいたします。

利用者 皆様の紹介をしていただき、色んなことを教えて頂きありがとうございます。先ほども申しましたが、初めて参加したので、これから勉強をして皆様に協力できるよう頑張りたい。

利用者 特定非営利活動法人手をつなごの事務局から参りました。武蔵関で関子ども家庭支援センター、貫井で貫井子ども家庭支援センター、小規模保育園を一園運営しております。貫井図書館では月一回の出張保育でお世話になっております。お母さまが安心してお子さんを預けて、お子さんが楽しく安全に過ごせるように気を付けて運営をしています。いつもお世話になっております。

4 貫井図書館長挨拶

時間が過ぎてしまいましたが、本日は色々お話しいただきありがとうございます。今後の運営に活かしてまいりたいと思います。今後も図書館運営にご協力いただきますようお願い申し上げます。皆様、本日はありがとうございました。